

CV 実施報告書

文責 実行委員長 医学科3年 佐瀬 光雄

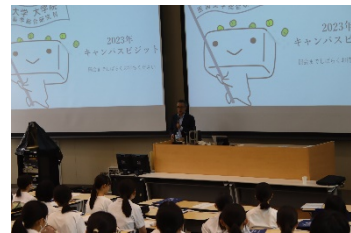
令和5年6月18日(日)、私たちは第11回キャンパスビジットを開催しました。本年は新型コロナウイルス感染症の規制緩和により、4年ぶりに対面での開催が実現しました。その結果、県内外の高校生から応募が殺到し、最終的には60名近くの高校生が参加してくれました。

このキャンパスビジットは、本学医学科への進学を考えている方や、本医学科に興味を持っている高校生等を対象にしたものです。毎年夏に行われる大学によるオープンキャンパスとは一味違い、有志学生から成る実行委員会が主体となり開催します。本学医学科の魅力や医学科生のキャンパスライフを紹介する他、実習機器体験や入試相談会など様々な企画を準備し、高校生の受験へのモチベーションアップにつながるよう今年も準備を進めてきました。

【当日の様子】

まず本キャンパスビジット実行委員会の顧問をして下さっている泉川先生よりご挨拶を頂きました。高校生が真剣に耳を傾ける姿を見て改めて対面で開催できることを嬉しく思いました。

1時間目の在校生講話では、1年萩原と3年木村が大学受験での体験や学生生活について説明しました。入試科目についてなどを分かりやすく解説してくれ、高校生も真剣にメモする様子がみられました。



▲開会式の様子



▲学生発表の様子

2時間目には、三名の先生方が高校生に対してご自身のキャリアや医師になられたきっかけをお話ししてくださいました。

臨床腫瘍学の芦澤和人先生は、小児がんのビデオなどを通して医師を目指す上での心構えをお話ししてくださいました。高度救命救急センターの田崎修先生はご自身が救命救急医になられたきっかけや医師のお仕事について貴重なお写真と共に話ししてくださいました。最後に、熱研内科の池田恵理子先生は、海外でのお仕事の様子をご詳細にお話ししてく

ございました。



▲芦澤先生ご講演



▲田崎先生ご講演



▲池田先生ご講演

今回のプログラムでは、日頃の大学同様 1 時間ごとに区切り、休憩時間と昼食タイムを取りました。そこでは学生スタッフと高校生がざっくばらんに話をするのができ、とても有意義な時間になったと感じています。



▲学部内見学の様子

午後最初は、学部内見学を実施しました。単なる施設の説明だけでなく、医学生のリアルな生活や裏話までスタッフから説明があり高校生にも楽しんでもらえたと感じています。



▲昼食タイムの様子

最後 4 時間目は、シミュレーション機器体験を実施しました。今回は、「呼吸音」「超音波エコー」「心電図」「心肺蘇生」の 4 つを体験してもらいました。日頃触れることのできない機器を実際に使いその意義を学ぶことは、高校生はもちろん我々学生スタッフにとっても貴重な体験でした。アンケートでも実習タイムが良かったという声がたくさん届きました。



▲実習タイムの様子

今回、対面で高校生と直接関わることができこのような形でキャンパスビジットが開催できることのあるがたさを実感するとともに、もっとこういった場を増やさなくてはならないと思いました。今後も長崎大学医学部を目指す人たちのモチベーションをあげたり、あるいは進路選択の助けになったりするようなキャンパスビジットを作るべく学生スタッフ一同頑張ります。

最後になりましたが、参加して下さった高校生の皆様、大学関係者の皆様、本当にあり

がとうございました。特に、ご講演いただきました芦澤先生、田崎先生、池田先生、有吉先生、機器体験に関して様々ご指導いただきました地域医療学 永田 康浩先生、大学病院シミュレーションセンター 高山 隼人先生、中山 龍彦先生に心より御礼申し上げます。実行委員の至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけしましたことも多くありましたが、皆様のご協力のおかげで無事に第11回キャンパスビジットを開催することが出来ました。ありがとうございました。引き続きキャンパスビジットをよろしく願いいたします。



▲集合写真